

平成 25 年度進歩賞候補者推薦方法について

公益社団法人 日本化学会

1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および学術賞・進歩賞選考委員会規則により、つぎのとおり定められている。

- (1) 進歩賞は、本会会員であって、化学の基礎または応用に関する優秀な研究業績をあげ、受賞対象となる研究についての主論文を本会会誌に 1 報以上発表し、年齢が受賞の年（平成 26 年）の 4 月 1 日現在において満 37 歳に達しないものに授与する。
- (2) 進歩賞は、学会賞および学術賞以外の賞を受けたものも受賞の対象とすることができる。
- (3) 学会賞、学術賞、進歩賞は同時に受けることはできない。

2. 提出書類〔返却しない〕

- (1) 支部長あて候補者推薦書（別紙用紙を使用）
- (2) 会長あて候補者推薦書（別紙用紙を使用）
- (3) 候補者調書
 - 1) 研究歴（別紙用紙を使用）
 - 2) 業績内容説明書（別紙用紙を使用）：候補者の業績内容を反応式、構造式、図・表を含めて具体的かつ簡潔に（参考文献を別として 2,000 字程度）にまとめる。
 - 3) 業績目録（別紙用紙を使用）：受賞対象となる業績に直接関係した論文などのリスト。論文と総説に分けて記入。なお、下記 4) の提出論文には○を付すこと。
 - 4) 論文または総説の別刷 5 報以内を各 10 部、10 組セットにする。コピーでも可。
注）「本会会誌または The Chemical Record へ一報以上投稿」の応募資格について：本書類提出時に本会会誌または The Chemical Record に投稿中で印刷中の場合は、採用決定通知コピーを添付して提出のこと。（7 月末までに支部へ提出すること。）

3. 業績説明

選考委員会における業績説明（下記 6 参照）は、第一次選考に通過した候補者のみ行い、説明は候補者本人が行う。なお、業績説明のための旅費・交通費については本会は負担しない。

4. 書類執筆上の注意

- (1) 清書は、ワープロ印書とすること。（40 字×40 行）とすること。
- (2) 年号は全て西暦で統一すること。
- (3) 会長あて候補者推薦書の推薦支部、支部長の欄は、推薦書作成者（または候補者）が記入すること。

* 本年度の各支部長は下記に記載。

- (4) 推薦する分野名は必ず記入すること。
分野：物理化学系、無機化学・分析化学系、有機化学系、材料化学・高分子化学系、天然物化学・生体関連化学系（医農薬を含む）、複合領域（情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む）
- (5) 業績目録は、下記例のとおり記載し、論文、報文以外の総説、著書などは最後にまとめて記載すること。ただし、論文、報文の中に印刷中(in press)の査読論文（審査のある

論文) は加えることができるが、投稿中(submitted) の場合は記載できない。(「本会会誌または The Chemical Record へ一報以上投稿」の応募資格については上述 2 - (3) - 4) 注) 参照のこと。)

論文誌でないもの(たとえば「化学と工業」)に掲載されたものは解説記事として取り扱い、査読論文と区別する。国内、国際会議での口頭発表、招待講演は書かない。

(6) 業績目録中、共著論文に関しては、候補者が総括研究者、または研究担当者である場合は〔主〕を、研究協力者である場合は〔協〕をその論文の末尾に付ける。

〔例〕(35) Molecular-Sieve Type Sorption on Alkali Graphites, M.Wada, S.Suzuki, K.Saeki, Bull.Chem.Soc.Jpn., 43, 2656 (1983)〔協〕

(7) 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦書」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を1頁目とし、「研究歴」、「業績内容説明書」、「業績目録」の順に、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

5. 推薦書提出先および提出締切日

候補者が所属する支部の事務局へ提出する。

締切日は各支部によって多少異なるので支部事務局に確認すること。

6. 平成 25 年度選考委員会開催日

(1) 書類選考〔郵便〕(第一次選考) 平成 25 年 9 月中旬～下旬

(2) 選考委員会(業績説明会最終選考) 平成 25 年 11 月 26 日(火)・27 日(水)

以上

☆進歩賞受賞者は、原則として受賞した業績を本会論文誌 Bull. Chem. Soc. Japan, Accounts に投稿する。

*平成 25 年度日本化学会各支部長(敬称略)

- ・北海道支部長 太田 信廣
- ・東北支部長 山下 正廣
- ・関東支部長 小坂田 耕太郎
- ・東海支部長 阿波賀 邦夫
- ・近畿支部長 戸部 義人
- ・中国四国支部長 高木 謙
- ・九州支部長 中嶋 直敏

進歩賞

候補者調書の作成に当たって

1. 適当な A4 判用紙に作成のこと。
2. 用紙の余白は左右約 2.5cm とること。
3. タイトルを除いて 10 ポから 12 ポ程度の活字とすること。
4. 原稿は横書きとし、1 ページの行数は(40 文字×40 行)程度とすること。
5. 「業績内容説明書」は、参考文献を別として 2,000 字程度にまとめること。
6. 年号は全て西暦で統一すること。
7. 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦用紙」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を 1 頁目とし、以下「研究歴」「業績内容説明書」「業績目録」の順とし、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

推 薦 書

年 月 日

日本化学会
支 部 長 殿

支 部

学 会 賞
学 術 賞
下 記 の 者 を 進 歩 賞
化学教育賞
化学教育有功賞
女性化学者奨励賞

受賞候補者として推薦します。

(該当を○で囲んで下さい。)

候補者氏名 (勤務先)	()
----------------	-----

推薦者氏名 (勤務先)	() 印
----------------	-------

推薦者連絡先	(所在地) 〒 Tel. FAX. E-mail
--------	---

整理
番号

進歩賞候補者推薦書

年 月 日

日本化学会会長 殿

_____ 支部

支部長 _____

下記の者を進歩賞候補者として推薦します。

(推薦分野： _____)

	(ふりがな) 候補者氏名		会員番号		
			生年月日	西暦	年 月 日
候補者	勤務先と職名				
	勤務先所在地	〒			
		Tel.	FAX.	E-mail	
	最終学歴			学位	
	現住所 (自宅)	〒			
		Tel.	FAX.	E-mail	
	連絡先	勤務先 ・ 自宅 (どちらかに○印を付けて下さい)			
	(和文) 研究題目				
	(英文)				
	過去における 受賞歴				

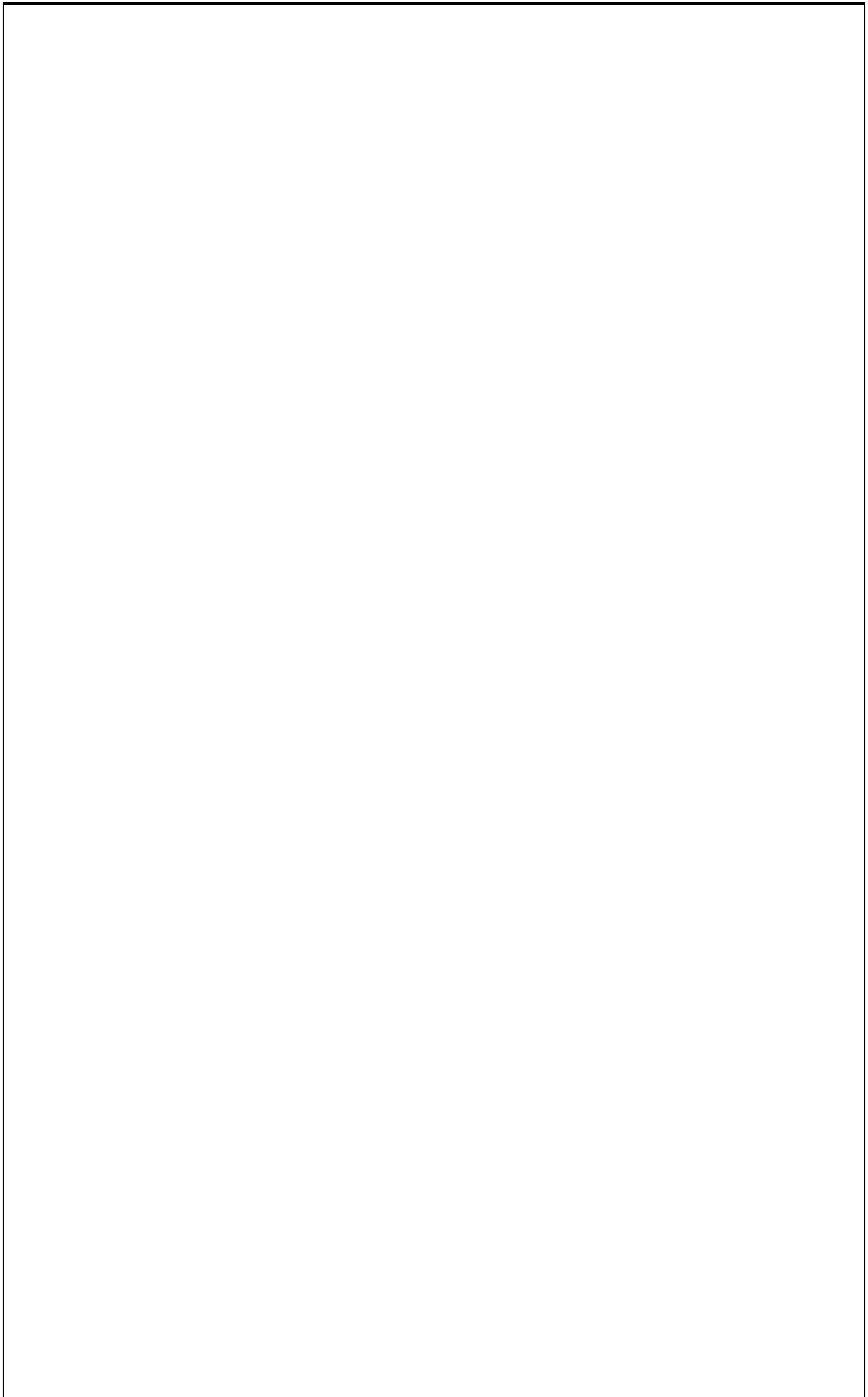
(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

研究歴 (職歴を含む)

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績内容説明書

研究題目	
業績内容を反応式、構造式、図・表を含めて具体的かつ簡潔に（参考文献を別として 2,000 字程度）にまとめる。【10～12 点程度の活字を使用すること】	



業績目録

受賞対象となる業績に直接関係した論文などのリスト。論文と総説に分けてご記入下さい。業績目録中、共著論文に関しては、候補者が統括研究者、または研究担当者である場合は〔主〕を、研究協力者である場合は〔協〕をその論文の末尾に付けてください。なお、提出論文には○印を付してください。

